

特別インタビュー ABC for Peace(いっぽプロジェクト)

核なき未来へ

“いっぽ”を踏み出す
若手医療者たち

2023年に北海道で開かれた「反核医師のつどい」で結成！

被爆80年、核兵器廃絶実現へ取り組みをどうつないでいくのか——。協会も運営に協力する核戦争を防止する兵庫県医師の会の全国団体である「核戦争に反対する医師の会(反核医師の会)」の若手メンバーを中心に、全国各地の医療・介護従事者・医療系学生が集まり、核兵器の廃絶と平和な社会の実現を目指し、活動しているプロジェクト「ABC for Peace」。アルファベットの最初の「ABC」のように、はじめの一步を大切に、日本語で「いっぽプロジェクト」と呼ばれる取り組みに参加する若手医師らに、口分田真副理事長がオンラインで話を聞いた。

若手がつながり

「アクション」できる場に

口分田 まず、プロジェクトの発足について教えてください。

稲原 2023年6月に東京で行われた反核医師の会の全国大会で、たまたま長野県の松本協立病院で働く医師の光武鮎さんの隣の席になりました。その時に、光武さんから「反核医師の会の後継者となる若手が活動できるプロジェクトを立ち上げたい」と話があり、「じゃあ一緒にやりませんか」と声をかけたのが、きっかけでした。

実際の結成はその年の9月に行われた「第33回反核医師のつどいin北海道」の時でした。それまでに月1回くらい5〜6人で集まり準備を進め、「つどい」の目には、全国から医学生や若手の医療従事者30人弱が集まりました。

グループディスカッションで「どういうことがしたいのか」「なぜこういう活動に関わるようになったのか」などをみんなで話し、懇親会の二次会でも話し合っ、最終的に「つどい」の最後に投票で決めたプロジェクト名を発表し、活動をスタートしました(上写真)。

河野 この「ABC」に思

河野絵理子さん

(医師、長野中央病院・埴玉県川口診療所)



丸橋 郁弥さん

(介護福祉士、長野県)



荒木さくらさん

(医師、熊本県・くわみず病院)



いが込められていて、Aはアクション、Bはブリッジ、Cはヘルスケアワーカーの「ケア」です。

学生の中から反核医師の会の学生部会や「つどい」に参加していて、すごく勉強になるのですが、先輩の先生たちの中でも高度なディスカッションを、受け身で聞くだけになってしまっていて、ちょっとモヤモヤしていました。私たち自身も行動したいという思いがあったので、アクション行動するための主体になるという思いでつくったというのが一つです。

ブリッジはいろんな世代、地域を超えてつながるということ、何よりも、世界中で核廃絶の運動が盛り上がりつつある中で、国境も超えるという意味を込めました。

最後の「ケア」は、「反核医師の会」は基本的には医師と歯科医師の運動なのですが、多職種の間がたから

稲原 真一さん



(事務職 東京都)

インタビュー



口分田 真 副理事長

いるので、プロジェクトでは職種も超えて活動できるようにという意味で、ヘルスケアワーカーの「C」を取りました。

次世代継承考える
ワークショップなど開催

口分田 これまでの取り組みについて教えてください。

丸橋 大きな活動として、核兵器禁止条約の締約国会議への参加と、反核医師のつどいでの企画があります。

また、メンバーの思いや社会情勢などに応じて、企画を検討してきました。2023年にはパレスチナ・ガザの問題で、北海道パレスチナ医療奉仕団団長の猫塚義夫先生をお招きして学習会をしたり、政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める動画リレーも行いました。動画リレーは、全国の医療機関で働く医療者たちから

メッセージを集め、SNS(フェイスブックやYouTube、Xなど)でアピールしていくという取り組みです。去年の「つどい」は沖縄で開催ということもあり、沖縄陸軍病院20号壕群を見学しました。医療者が戦争にどう加担してしまったのか、またはどういった役割を押し付けられてしまったのかという視点から歴史を学ぶ良い機会になったのかなと思っています。

河野 被団協代表委員の田中照巳さんらが呼びかけ、今年2月に開催された「被爆80年 核兵器をなくす国際市民フォーラム」では「Bridge! 医療・法律・教育をつないで次世代継承を考えよう」というワークショップを企画しました。

医療・法律・教育に関わる20〜30代のメンバーがそれぞれの専門性を活かした日々の活動の交流や核廃絶への思い、視点を共有し、核廃絶の必要性や今後の展望について深めるとともに、運動の世代継承や次世代への運動のあり方なども議論しました。

その準備段階で、「反核医師の会の歴史を私たちはあまり知らないのではないか」という話になり、代表世話人の中川武夫先生をお呼びして会の歴史を学ぶ企画を行いました。この企画で、先輩たちから学ぶことがたくさんあると気づき、今年の「第35回反核医師のつどいin東京」のテーマが「継承」なので(2面に案内)、先輩の話を聞く機会をプロジェクトとして持とうと、5〜7月に3回にわたってブレ企画を実施しました。

1回目は間間元先生にお話を伺いました。先生は第五福

口分田 核兵器を違法とする核兵器禁止条約が2021年に国連で発効し、この実施状況や今後の取り組みを議論する締約国会議が毎年開催されています。先ほども少しお

3回目は、青木克明先生から在外被爆者の支援に関わられたこと、そして先生ご自身が被爆二世であることなどをお聞きました。

印象的だったのは、会場に1階席と2階席があって、1階席に各国の代表の方とともに、発言する市民団体の代表の方がいたことです。市民団体も各国の代表も同じフラットな場所について、私たちのような一参加者の市民は2階席にいるのですが、ドリンクな

童丸が帰港した焼津港のある静岡県の医師で、ビキニ環礁のマーシャル諸島で被爆者の健診などをされてきました。

2回目は、長年被爆者の相談支援活動に取り組んでこられた広島原爆被害者相談員の代表の三宅文枝さんに話をうかがいました。

河野 私が参加したのは2023年の第2回締約国会議だったんですが、国際会議への参加自体が初めてで、すごくドキドキしました。核兵器禁止条約の締約国会議は、市民が参加できるという点で、国際会議としてはまれなものだったみたいです。

話にでていましたが、この締約国会議に参加されたということで、その経験を教えてください。

暑中お見舞い
申し上げます

兵庫県保険医協会 役職員一同

夏
消
特
集
号

戦後・被爆80年
特集号

◆今号の記事

・会員投稿特集「昭和100年、戦後80年」

3、6、7、12面

「自由題」

9〜11面

Photo Gallery

4面

・第105回評議員会・特別講演「『台湾有事』を起こさせないために」

沖縄国際大学 前泊 博盛教授

8面

・県歯科医師会・橋本芳紀会長を表彰訪問

11面

◆お知らせ

・本紙8月15日付は休刊します。

・協会事務局は8月13日(水)〜17日(日)まで休務、18日(月)から通常業務とさせていただきます。ご了承ください。

特別インタビュー つづき

次世代への架け橋に

(一面からのつづき)

~~~~~  
どを持ち込んで、皆さん自由に聞くことができました。2階席から1階席への出入りのハードルも全然なく、私も知り合いの方が発言されるので、その写真を撮りに1階に降りると、すぐ近い場所で見られるという感じでした。国際会議がこんなに自由なんだということ、市民の発言が会議の議事録に残り、今後国際的に重要視されるんだということ、一市民として実感できました。

国際的な核廃絶の議論に関われるんだと身に染みて感じられたことがとても楽しく、重要な経験させてもらったなというのが一番思っていることです。

荒木 私は今年3月に、第



2025年IPPNW（核戦争防止国際医師会議）のユースの企画で。中央が荒木さん

3回の締約国会議に参加させてもらいました。日本の若者がいろいろな市民団体から多数参加しており、核問題をシエンダーの視点で考える取り組みをされている団体の方などが、本会議で発言されました。

日本政府は条約の批准どころか、締約国会議へのオブザーバー参加すらせず、ジェンダーの問題でも世界から遅れをとっている中、日本にも、そういう問題に取り組んでいる若者がいて、その人たちの研究や発言、提言が盛り込まれるというのはすごいことで、被爆者の方々はもちろんのこと、日本の市民が核廃絶をリードしている部分があると感じました。

今回の第3回締約国会議では、核兵器を安全保障上のリスクとして捉え、そのリスクを研究・追求していくことがテーマになりました。

▼いっぽプロジェクトへのアクセスは下記から！



ABC for Peace (いっぽプロジェクト)  
若手医師・介護従事者によるプロジェクト

https://lit.link/abcfpeace

核廃絶にかかわるきっかけ

がそれを払しょくしてくれました。

口分田 今、皆さんがされていることは本当にすごいことと思うんです。私は皆さんの年齢の頃、初期研修や大学院在学中は研究、アルバイトに明け暮れて、社会的なことにも何も目を向けることができていませんでした。活動をしようというきっかけは何だったのでしょうか。

河野 中学生の時に家族旅行で広島平和記念資料館に連れて行ってもらい、その時初めて原爆投下という事実を知りました。被爆者が描いた絵がたくさん飾られていて、それが本当に衝撃的で頭から離れなかったことが、一番の体験だなと思います。

その後、高校生になり、両親が医療関係者だったこともあって、あまり深く考えずに医学部を受験の選択肢として考えていました。ただ、「医師」という社会的責任のある立場に、自分になれるのだろうか」という自信のなさがずっとありました。ニュースで日本でも世界でも飢餓や貧困で苦しんでいる人がいるという

映像を目にし、自分が何もできていないこと、そもそも知らないことが多いということに、自信を失っていました。そんな自信のなさを抱えたまま医学部に入学してしまっ

た時に出会ったのが、反核医師の会でした。先ほど話に出てきた光武貼さんが信州大学の先輩で、反核医師の会の学生部会や「つどい」に誘ってもらいました。医者という立場で、臨床をしながら平和な社会のために実際に行動している先輩方の存在に衝撃を受けました。「エゴかもしれないけれど、何もできないという感覚を覆せるのではないかと」「私にもできる行動があるんだ」と思えたことが、今も活動を続けている理由のひとつだと思います。

荒木 私は大学に入って社会問題について考えるようになり、サークルでそうした社会活動をするのが楽しかったのですが、就職してから、そういう機会がなくなってしまいました。

昔と違い今、「働き方改革」で研修医は「早く帰れ」と言われるため時間があって、そんな時に北海道の「つどい」の情報が来て参加したんです。その「つどい」がちょうど「いっぽプロジェクト」の立ち上げでした。同世代と一緒にできる場というのがよかったと思います。一人ではなかなか続かないけれど、一緒にやれる人がいるといいなと思うんです。

口分田 思いが近い人間の中では、共通認識があって、いろんな話ができると思うんです。ただ、核抑止力が必要だという人や「あなたたちは本当に核廃絶ができると思っているの？」などと言われる

方々が、悲しいことに医師の中にもおられます。そういう方々との対話も深めていかなければいけないと思いますが。

丸橋 後輩の職員たちから「世界って変わるの?」「無理だよな」という消極的な声を聞くことがあります。そういう時に話すのは「本

当に世界って変わっていないかな?」ということです。私は介護士をしていましたが、数十年前は「認知症」という言葉自体がなかったと思

うんです。認知症が理解され、治療やケアにつながるようになったのは、ここ数十年のことです。先ほど話があった「残業するな」も、昭和の時代には本当に考えられなかったと思うんです。世界は変わっています。確かに悪くな

っている部分もありますが、よくなってきた部分もたくさんあるじゃないか、という話を後輩たちにしています。核兵器に関して、10年前だったら私もかなり弱気になっていたと思いますが、「核兵器禁止条約」ができて、世界各国、大國以外の多数の国々が批准して、世界が核兵器廃絶に向けて動いている。5、6年前には考えられなかった状況です。

全国の仲間を増やし被爆者医療の継承へ

口分田 最後に、いっぽプロジェクトの今後の目標として、兵庫の医師・歯科医師へのメッセージをそれぞれお願いします。

稲原 もっと仲間を増やしたいということが一番の目標です。思いはあるけれど一人でモヤモヤとしている人たちが全国にいると思っていて、

そういう人たちとつながって活動できる場にできたらと思っています。

荒木 本場に「仲間を増やしたいなあ」という思いが、強いんです。特に熊本と一緒に活動する仲間をもっと増やしたいなと思いますね。

みんなが平和のことを考える時間が少しでも増える、それだけでも意味があると感じています。核兵器禁止条約について、正直、国内の報道が少なく、「締約国会議に参加した人がいるらしいよ」と話題づくりができて少しでも認知度を高めていけたらと思っています。

丸橋 今、6歳の息子がおり、自分自身が家族に継承していくということが大事だと思っています。継承できるように、学びを深めて学習し、行動していくことが大きな目標だと思います。

身近な目標は、私のいる病院でいっぽプロジェクトに関わってくれる人を作ることです。兵庫県の先生方とも交流できたらと思います。

河野 私は、「被爆者医療の継承」が、いっぽプロジェクトの使命の一つでもあるのかなと、最近感じています。これまでの取り組みを通じて、反核医師の会のたくさんの先輩方が被爆者の方々に寄り添い、人生を共に生きてきたと知りました。先輩方がどんな思いでやってこられたのか、それがどのように核廃絶に向けた運動になってきたのか、改めて私たちが継承し、橋渡しとして引き継いでいきたいというのが、大事な目標だと思っています。

兵庫県保険医協会の皆さんといえは、やはり中心になって行っているDBOB

河野さんも話題提供！ 第35回反核医師のつどいin東京  
被爆80年 反核平和運動・被爆者支援・  
被爆医療の歴史を学び継承しよう！

2025年8月30日(土) 13:30～31日(日) 13:10

会場 東京都・平和と労働センター・全労連会館2階ホール（御茶ノ水駅徒歩5分、オンライン併用）

シボヅム 「被爆80年、被爆者運動・被爆医療の歴史を継承する」

パネリスト 田中熙巳さん（日本被団協代表委員）、齋藤紀さん（ふれあいクリニックさくらみず所長）、河野絵里子さん（長野中央病院・青年医師）、松久凌大さん（秋田大学医学部5年生）  
他に、俳優の斎藤とも子さんや弁護士の大久保賢一さんによる講演、若手医師・医学生による企画など

参加費 医師・歯科医師5000円、医療関係者2000円、医療系学生1000円（1日参加・オンライン参加でも参加費は同じ）

お申し込み・お問い合わせは、兵庫協会事務局 ☎078-393-1807まで

(Don't Bank on the Bomb, 核兵器にお金を貸すな) キャンペーン(下)が本場にすぎないと思います。歌とアニメーションがとても好きで、歌の最後に「いっぽ」という言葉を入れてくださったって、私たちのプロジェクトにつながるのも本場にうれしかったです。何よりも、締約国会議でも再三にわたり指摘されている、核兵器製造企業への投資と融資は核関連行為への援助に当たるという、非常に大切な部分にアプローチしていくという実行力を持つ内容で、その発想力や実行力を教えてもらいたいなと思っています。

口分田 引き続き、核兵器のない社会を目指して、交流をしながら、お互い頑張っていきましょう。今日はどうもありがとうございました。



**DON'T BANK ON THE BOMB**  
核兵器にお金を貸すな  
近畿反核医師懇談会・反核医師の会  
(核戦争に反対する医師の会)



詳細はコチラ▶▶▶ **DBOB**   
<http://www.hhk.jp/dbob/>

本誌にリーフレットを同封！





「明石海峡大橋」

須磨区・歯科 渡邊 孝

「平和への祈り」

尼崎市 白壁 昌弥



## PhotoGallery

2025 Summer

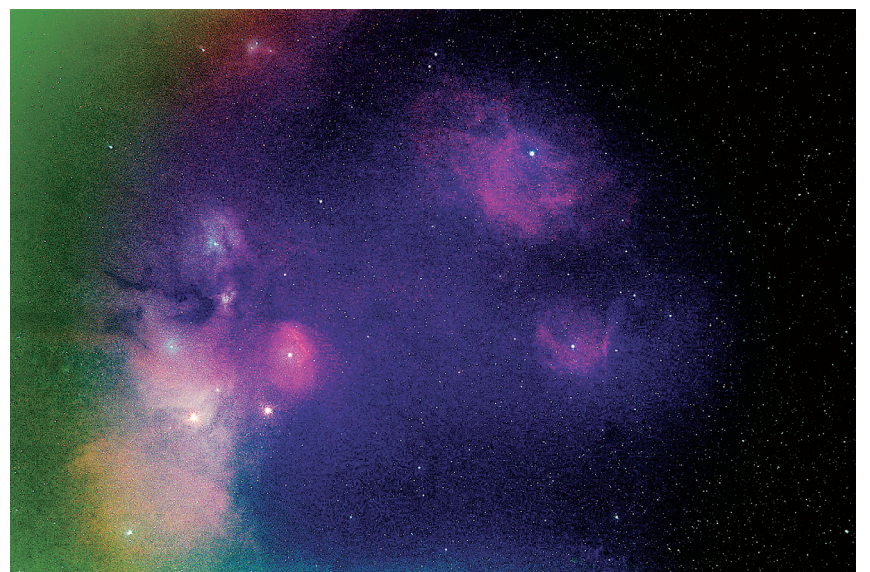


「春の小豆島農村歌舞伎から  
重要有形民族文化財鳳凰」

灘区 山中 忍

「さそり座の頭部」

準会員 五嶋 良吉



「どうなった？」

中央区・歯科 大角 俊夫



「笑顔」

宝塚市 柴田 充

## 私の映画案内

201

白岩一心

### 「木の上の軍隊」 「長崎く閃光の影で」

戦後・被爆80年の夏、2本の映画をおすすめします。

一本目は「木の上の軍隊」。1945年沖縄県伊江島。激しい日米の戦闘が繰り広げられる中、2人の日本兵が、怯えながらも木の上に身を潜め、戦争の終結を知らぬまま2年間生き延びた事実があります。

作家・井上ひさし氏が舞台原案を遺した作品を映画化。戦後80年、悲惨な地上戦（沖縄戦）を必死で生き抜いた日本兵の姿は、哀れなのか？英



©2025「木の上の軍隊」製作委員会 ©2025「長崎 閃光の影で」製作委員会

は、援軍が来るまで待機を決定。国家を背負う厳格な上官・山下と、島から出たことがなく呑気な新兵・安慶名は、話が噛み合わないながらも、二人きりでじっと恐怖と飢餓に耐え忍びます。

やがて戦争は終結しますが、そのことを知る術もない二人の「孤独な戦争」は続いていきます。極限の樹上生活の中で、必死に戦い続けた2人の姿に今後の日本防衛の在り方を考えさせられます。

もう一本は「長崎く閃光の影で」。被爆者を救護した日本赤十字社の看護師たちが、被爆から35年後にまとめた手記を原案に作られた本作品。手記に書かれた看護師たちの体験を基に、3人の

10代の少女の1945年夏の物語が紡がれます。今を生きる私たちと同じように、夢があった彼女たちの青春が一瞬にして原爆で奪われ、残酷な現実のなか、命と向き合うこと

を諦めなかった彼女たちの視点に注目。原爆投下当日から一カ月間の救護活動の日々を克明に描き出し、その生き様をスクリーンに刻み付けます。

1945年、長崎。看護学生の中野アツ子、岩永ミサヲの3人は、空襲による休校を機に帰郷し、家族や友人との平穏な時間を過ごしていましたが、8月9日午前11時2分、悪魔の原爆が投下。平穏と思われた日常は一瞬にして崩れ落ちます。

街は廃墟と化し、彼女たちは、未熟ながらも看護学生として負傷者の救護に奔走。救える命よりも多くの命を葬らなければならぬという非情な現実の中で、彼女たちは命の尊さ、そして生きる意味を問い続けます。

医療従事者は、やはり命の尊厳を重視して、核兵器廃絶や平和外交を叫ぶべきではないでしょうか？

【赤穂郡・白岩歯科医院】

めまっせ。愛犬を連れて一緒に食事ができるんねん。フレンチが中心ではあるが、冬は和室(個室)で鍋料理が可能。岡山といっても兵庫県となり、姫路から車で60分、新幹線で20分。神戸の中心から県内の豊岡や洲本に行くより近場です！



めまっせ。愛犬を連れて一緒に食事ができるんねん。フレンチが中心ではあるが、冬は和室(個室)で鍋料理が可能。岡山といっても兵庫県となり、姫路から車で60分、新幹線で20分。神戸の中心から県内の豊岡や洲本に行くより近場です！

## ANON 彩音



あのねえ！今回はでんねん。岡山市のもんげー(岡山弁で「すごい」)広い！フレンチレストランANON彩音でんねん。



息子夫婦とANON玄関前にて

おとぎ話に出てくる西洋風屋敷跡の庭園が美しい、春の桜、秋の紅葉、何と言っても広大な起伏のある庭園。四季折々の景色が楽し

夏はビヤガーデンと森林浴。また毎月第3金曜はデイナーJazz Nightを開催し

『森の邸宅 彩音ANON』  
〒703-8266 岡山県岡山市中区湊1344-56  
☎086-276-4088  
ランチタイム 11:30~14:30 (L.O.14:00)  
ディナータイム 17:30~21:00 (L.O.20:00)  
火曜定休  
[Web予約フォーム] → <https://restaurant.anon-okayama.com/reservation/>

## No Art. No Life. (夢は私設美術館) ⑥

### 小磯良平 細密で繊細な描写

三田市・歯科 小寺 修



①「婦人像」油彩6号 昭和24年作



②「舞妓c」銅版画 イメージサイズ61×50cm

ての軸をご覧ください。昭和24年作ですが、そこに、オーラを放つ絵が、私を見つめているんです。それがこの絵(①)です。綺麗な肌色と赤い紅が、なんと素敵なお嬢さんです。ショートヘアーが、快活さを感じさせます。何といっても白いドレスが輝いています。撃ち抜かれました。

それから、寝ても覚めても頭から離れません。四方八方手を尽くしてお金をかき集めました。が、中々届きません。届かないままのお金をリュックに詰めて長靴を履いていました。先生はお目当

16年12月に日本口腔インプラント学会近北支部学術大会が富山で開催されました。その時に、保険医協会尼崎支部会員の寺浦先生にヤフオクで気になっている掛軸があるのを見て、一緒に行きませんかと誘われて「GINZA絵画館」という画廊に伺いました(富山にあるのに何故かGINZA?)。センス良く色んな絵が飾られていました。先生はお目当

て雪の富山に向かいました。寒い建国記念の日でした。社長さんに無理を承知で、お願い致しました。すると、「素晴らしい作品を値切り過ぎてはいけません。絵も貴方自身も値うちが下がってしまいます」とたしなめられました。にも関わらず、「雪の中、長靴履いて来られたのは、参りました。ただし金額は他言無用で」とお譲りくださいました。大事に抱いて三田まで持ち帰りました。感謝です。家宝になりました。この赤とえんじと黒の格子妓は「舞妓3部作abc」

小磯良平さんはモデルの衣装のヒタなどの描写がとても細密で繊細だと思います。これでサンチカにある兵庫ゆかりの3大洋画家が出揃いました。また、兵庫県立美術館に小磯良平と金山平三の常設展示室があります。一度足を運び下さい。

歴史を感じさせる西村屋本館



### 城崎温泉 西村屋本館 (上)



夕づく夜おぼつかなきを玉くしげ ふたみの浦はあけてこそ見ぬ (藤原兼輔、古今和歌集)  
城崎温泉が初めて詠まれたとされる歌で、「今は夕暮れではっきりしないから、二見の浦は箱の蓋を開けるように

夜が明けてから見るとしよう」の意。また「二の湯」の近くには、1930年に城崎温泉を訪れた与謝野晶子の歌碑がある。

日没を円山川にみてもなほ夜明けめきたり城の崎くれば若狭の国から移り住んだ初代

大正期までは外湯のみで、昭和に入って当時の三木屋が館内に風呂を設けようとしたが、「温泉は共有財産」という町の考えとは相容れず訴訟になった。戦後、西村屋の当主が町長だったときに和解し、温泉利用権は町にあるものとして温泉集中管理方式で管理することとなった。

西村屋本館はミシュランが選ぶ「キーホテル」で二つ星にあたる「二つ鍵」を獲得している。まずお出迎えのスタッフが多く、おもてなしの意気込みがひしひしと伝わる。エントランスの正面には趣のある庭園があり、その横には「青月盧文庫」を備えたロビーラウンジがある。離れには資料館となっている展示室があり、犬養毅と伊藤博文の書画、北大路魯山人と河合寛次郎の陶芸、そして城崎の地元の名工芸品など、多くの有名人や芸術家の関連作品が收藏されている。

【西区 前田 達生】



特集 テーマ①

# 戦後80年

つつき

## 戦中戦後の思い出

三木市 神澤 正三

量浮いている雑炊であった。ある時はふかしたジャガイモ1個が昼の食事で、米の食事を知らなかった。

医者の家に育ち、娘時代から自分の父親の手伝いをしていた母は、戦地から帰った父と2人で、家を借りて医院を開業して働いた。小学校に通っていた私たち子どもの役割は、母の代わりにかまどでご飯炊きをしたり、風呂の水を、近くの井戸から釣瓶でくみ上げて家に運び、薪や石炭を燃やして風呂焚きするなど、また、治療費の払いの悪い患者の家に、集金に行くのも子どもの役割だった。

昭和22年、父が帰国した時、生まれて初めて真っ白いご飯を食べた。父がまだ帰っていないかった戦後の1、2年の頃、母は自分の着物を食料と交換してもらうために、荷車を引いて三木から神出の知り合いの家まで歩いて、それに僕も付いて行った。

昭和19年、もうすぐ神戸に空襲があるからと、明治の初めから3代くらい続いていた兵庫区の医院を引き払って、三木に疎開してきた。母は男兄弟3人と高齢で医者を引退していた祖父を連れて、食べ物を得るために死に物狂いで働いた。思いつく食べ物は、高粱にサツマイモのつるが少

なっていた。私も84歳になり残り少なくなった今、原稿の依頼の縁があり、つたない思い出を届けます。

## 従兄の戦中戦後

加古川市 渡辺 弥生

3〜4年前、従兄に「戦中戦後の資料があれば頂けないでしょうか。私はあちこちにエッセイを書いていますが色々な資料を集めていますので」と言いつつ、どうぞ使ってくださいと言って一冊の自分の原稿部分をコピーして送ってきた。

この本の表紙は「平和の礎」で、独立行政法人平和祈念事業特別基金発行となっている。内容は海外引揚者の労苦であり、海外引揚の人々か

## 平和を守ろう、子どもたちの未来のために

宝塚市・歯科 榎谷多紀子

まだ物心ついたばかりの頃、都会の人通りの多い駅近くの路上で、手足を負傷された軍服姿の兵隊さんが、募金活動をされていたことを覚えて

います。また、ある日、市バスが市電だったか、記憶が定かではありませんが、停車場に着いた時、一人の少年が乗務員に10円足りないと言われ、怒鳴られていました。少年は13〜14歳くらいに見えましたが、ボサボサに伸びた髪の毛は、埃だらけで、何

のも難しい状況に置かれるのかと思ひながら読んだ。

私の叔父一家は戦前、北朝鮮に渡り、叔父は学校教育に全力で取り組んでいた。終戦時、長男の従兄は16歳で、ソ連陸軍野戦病院で日本人重症患者の世話をしていた。

幸せな暮らしは終戦で激変した。8月15日、ソ連軍がソ連国境を越えてスターリン戦

車を先頭にして南下を続け、8月21日には叔父たちがいた咸興市に進駐した。8月23日は日本軍の完全武装解除があり、ソ連軍は8月27日と28日に知事以下の日本人公務員、警察署長以下の警察関係者、日本人有力者などを一斉連行

した。

その時、朝鮮にいる我々日本人に待ち受けていたものは、まさしく恐怖と暗黒の世界であった。仕事も収入もなくなり、食べるものもなくなってきた。それにもまして日本人を恐怖の極限に追い詰めたのは、日本人を守ってくれた人がいない無警察状態だった。そして我々に自衛することも許されなかった。

ある日、突然自宅に乱入してきた者によって、家中のめぼしい物は全て持ち去られ、その家の住人は退去を命じられ、その人たちは路上に投げ出されたままになった。広い家に住む人たちは家を追い出

る。大きな危険と費用が伴うわけだが、加害者の米軍は関わりず敗戦国の日本が責任を負う。特に激戦地だった沖縄では、全ての処理が終わるのに約100年かかるそうだ。

もしも講和がもっと早まっていたなら、このような負の遺産は減っていたのではないだろうか。ただ当時の陸軍にそのような考えは全くなく、8月15日も本土決戦を主張するものがいた。アメリカでは原爆により戦死者を減らすことができたと思える人が、いまだにいる。実は原爆投下によって、当時の政府は降伏を決めたといわれている。

## 戦後80年経って

伊丹市・歯科 谷口 哲也

敗戦の名残として記憶していることは、地下街で見た傷痍軍人である。手足や目を失った白装束の姿は、幼少児には怖いと感じられた。GHQは旧軍人に厳しく対し、軍人恩給は廃止された。それで彼らは市街地で物乞いするようになったのだが、それを知ったヘレン・ケラーは政府に支援を訴えた。

もはや戦後は終わったといわれる今でも、地下工事において突然、不発弾が発見されている。ひとたび発見されると住民は避難して立入禁止となり、自衛隊により処理され

され、知人の家や、古い陸軍の兵舎に押し込まれた。我が家は4間に6人家族が暮らしていたが、この家でも3家族を受け入れている。

ソ連兵による強奪、強姦、暴行が頻発し、我が家にも何度も闖入してきた。その都度、同居4家族の全女性を裏口から逃がしたり、床下に押し込めたりしてかくまったが、深夜といえども安眠が許される状況ではなかった。

行政権がソ連軍から北朝鮮人民委員会に移り、日本人に対する復讐とも思える北朝鮮保安隊の行動が目立ち始めた。多くの日本人が理由もなく逮捕され、投獄された。

もう一つ日本人にとって大きな問題は同胞の死体処理であった。寒さと食糧不足で多くの日本人が次々と亡くなった。厳寒の北朝鮮でも死体には毎日変化が生じる。この状態を何とかしなくてはと、日本人会は総力をあげてまだ動ける日本人約5千人に呼びかけて旧日本人墓地の近くの山腹に約90cmの溝を掘ることに

なった。しかし3千人の死体でこの長い溝もすぐ一杯になった。今でも、北朝鮮の山腹には放置状態にある多数の仏様が救いの手を待っておられる。何とかして祖国日本にお連れできないか、考えあぐねっている。

## 空襲の当日

灘区 岡本 好司

昭和20年の夏になると、戦争の状況が怪しくなり、慌ただしい気分になっていた。わが家の南側は昔は甲陽中学だったが軍隊が入り込み、朝夕ラッパが鳴り響いた。朝6時、夜9時に鳴る。

われわれ餓鬼坊主は朝は「オキロ オキロ ミナオキロ オキナイトタイチョウサンニシカラレル」、夕方は「シンペイサンハツライヨネ マタネテナクノカヨ」と勝手に歌詞を作り楽しんでいたら、祖母に「そんなこと言うたらいかんぞね、軍隊に聞かれたらくられるぞね」と高知弁でたしなめられた。くく

昭和22年になると、朝鮮からの引揚げが始まり、5月に家族皆で荒波や伝染病を乗り越えて博多港に帰ることが出来た。自分たちが無事帰ってこられたのは奇跡に近い幸運であった。

従兄の最後の文章は「もう二度と戦争しないで！平和に過ごしたい。これが心からの願いです」。

私の家族は叔父たちから戦中戦後の苦勞話をあまり聞いたことがない。帰れなかった人たちの無念を思うと話すことができなかったと思う。でもよく無事で帰ってこられたと改めて叔父たちの幸運をありがたく思っている。

るとは逮捕のことである。7月下旬、空からビラが降ってきて、西宮も空襲するぞと書いてあった。狩猟民族が弱っているものを徹底的に叩きのめしたい根性が見えてきた。

7月上旬、母の着物を長持3棹に入れ土の中に埋めておいた。知った顔をした方から湿って駄目になっているぞと言われて出したが、大丈夫であった。その夜空襲があり、慌てて衣類を元に戻し終わった途端、焼夷弾が降ってきた。防火用水の桶が微塵に壊れ、消火が困難になった。

3月ごろ、大阪が空襲に遭い、伯父という人が舞い込んできた。そんな伯父がいたのかと、母に尋ねたら、「全く付き合いがなかったが、いた」と返事があった。居候かと占領し、上等の客布団を使い、炊事も道員が一つしかないため、伯父夫婦が先、風呂も同じ、私どもはその後になった。どちらが主人かわから

ないと思ったが、祖母も何も言わず黙って対応していた。空襲の夜から行方不明になった。朝、隣の織野さんがお金を持って、おにぎりを分けて下さり、ありがたかった。その後多くの援助を賜り、何とか危機を乗り越えることができた。

なお、母の着物は、奈良のお百姓さんの娘さんが結婚するのに着物が無いということだったので、全てお米と交換してしまった。残念だったと思われたが母は一言も文句を言わず、これでしばらくご飯が食べられると安堵していた。今では感謝している次第である。

祖母は13歳で結婚し、2千坪の屋敷の女主人だったが、戦後は長屋の2階借りの部屋で目を閉じた。葬式もできず、大八車の霊柩車で満池谷の墓地で荼毘に付されたのが最期だった。どんな時でも腹を立てない不思議な祖母であ

った。これは真似ができない。

会員投稿

## 「昭和100年、



その葉の炒めものは食べられませんでした。一つ下の妹はカボチャを食いすぎて、顔が黄色くなったことがあります。そのカボチャもよく盗難に遭いました。

## 5歳頃の思い出

明石市 関島 昌信

いちばん悲しかったことは、5歳の春になって、暖かい日、近くの川に蟹やメダカを取りに連れていってくれたら、オタマジャクシを見つたり、遊んでくれた近所の優しいお兄ちゃんがいました。しばらくしてそのお兄ちゃん

山深い信州飯田の田舎で生まれ、育ちました。昭和20年8月15日、あの太平洋戦争終戦の時、私は5歳3カ月でした。幼かったのでその時の記憶はほとんどありませんが、怖かったり辛かったり、当時のことを今でも思い出すことがあります。

夜中ブーンブーンと、飛行機の音がするたびに家族（両親と祖母、妹二人、私）6人が小さなテーブルの周りに集まり、顔を見合わせながら裸電球の明かりを消して暗い中、音が小さく消えてゆくのを静かに待つことが幾度となくありました。B29と聞くとほんとうに怖かったです。

ジャガイモやサツマイモの入ったご飯は嫌でした。我慢して食べましたが、サツマイ

## 近頃想うこと

中央区・歯科 谷井 博美

昭和、戦後は激動の時代であったと思います。戦前と戦後の価値観の大転換があり、国土の荒廃からの復興を成し遂げて、今ではGDP世界第4位になりました。

江戸時代末期の鎖国制度の廃止と明治維新から西洋列強に並ぶための政策をとり日清・日露戦争、そして最後の太平洋戦争を経て国土荒廃を招き、そこから立ち直り今日に至った。私は戦後80年戦争のない時代に生まれ育った世代ですが、戦後の街頭や米軍のカマボコ兵舎の記憶はあります。

平和な80年間で、今までの時代の流れに変化が表れてきている気がしています。歴史を願っています。

## 戦後80年 靖国に思う

三田市・歯科 小寺 修

6月5日スタッフを連れて総勢9人で靖国神社に終戦80年正式参拝に上がりました。その後、「特攻勇士の像」に、碑には「計五八四三名の陸海軍人は敢然として敵艦船等に突入散華され、今日の平和と繁栄の我が日本の礎となられた。」と記されています。本当にそうでしょうか？

この尊い若者が散らずに敗戦の復興に当たればもっと早く、もっと着実に日本の繁栄が訪れたのではないのでしょうか。

## 戦意昂揚の裏での

## 建前と本音の差

尼崎市 大隈 義彦

不思議な光景を見ました。昭和19年、大阪の親元から疎開先の佐賀県佐賀郡西川副村国民学校3年生の時でした。

朝礼台の上で数カ月前に出征したはずの先生が泣かんばかりに、声を張り上げ、全校生徒に謝っておられました。そういえば、前の時は「自分は忠勇無双の兵士として、一命を投げ出して征く。皆は私の屍を乗り越えて後に続け」と興奮して檄を飛ばしておられたのを憶えています。



旧居留地の海岸ビルに残る機銃掃射の銃弾跡

今回は「勇躍出征したものの、徴兵検査不合格で、独り郷里に帰されることとなった。お国の役に立つことが出来ない。これ程不忠不孝なことはない、恥ずかしいことはない。唯々、皆に申し訳ない気持ちで一杯である」云々。身の苦しみをもたえるが如く訴え、謝

その後、すぐ側の「パール博士の顕彰碑」に、碑には「一時が熱狂と偏見とをやわらげた暁には、また理性が虚偽からその仮面を剥ぎとった晩には（後略）」とあります。極東軍事裁判の11人の判事でただ一人全責無罪を主張されたインド代表判事です。

一定数の国民は勝てば官軍の連合国が下した裁判だと仰います。そうです、そもそも問題とは日本国民自身が、天皇陛下を欺き国民を蔑ろにした者たちを裁かなかったことです。そのため責任を「国」という曖昧な対象にしてしまったのです。その結果が今の日本です。

僕たちは故意に知らされな

罪されるお姿に、私は心から同情申し上げました。当時クラス会では予科練生選抜の一環か、しばしば、将来君は何になるかという質問に答えさせられておりました。ほとんどの級友たちは勇ましく、陸軍大將になる、海軍司令長官になる、予科練に行つて航空兵になる、と言うておりました。私に順が回りますと、祖父が学校医をしていたので、皆が異口同音、いくらかの嘲笑をこめて、「医者になる」と合唱するザマでした。軍国主義の風潮の中では、甚だ肩身の狭い思いをしておりました。

皇軍の真の戦況を知らされてない不逞の少国民にとっは、連戦連勝の軍人さんは憧れの的でありました。くだんの先生がその軍人さんになれないなんて、本当に気の毒に思つたのです。

ところが、朝礼が終わる生徒たちが各々教室へ向かう行進を始めた時、降壇された先生を取り囲み4〜5人の先生たちが小声で「よかったね。助かったね」と握手を繰り返して喜んでいてはありませんか。

これはどう言うことでしょうか。何がよかったのでしょうか。何が助かったのでしょうか。それから間もなくのことです。村の入口にある雑貨屋「みくりや」さんの前で、近所のオバさんたちにかこまれて祖母が悄然として立っておりました。私の下校するのを待ち構えていたのです。

私を見るなり祖母は開口一番「お前のお父さんが兵隊にとられることになった」と告げました。私は「それはめでたいなあ。お父さんが出征するんだ」とはしゃいで応答しましたが、2人だけになった帰り途、ひどく叱られました。

「他人様には内緒だけれど、戦争に征くということは死に行くことよ」

祖母は涙を一杯ためて一生懸命私に言って聞かせました。

「お前のお父さんは柄は大きいけど、重いものを持ったことも担いだこともない。しかも若くないんだよ。43歳で徴兵するなんて」「3人の息子を立派に育てあげたのに、その3人共兵隊にとるなんて。あんまりだ」

夕方、祖父が帰宅するまでの間、いつも気丈な祖母は、どこにもぶつけない不条理とそのつらさを、幼い私相手に嘆き悲しみました。

今振り返ってみると、戦争とはかくも建前と本音の差を作るものなのでしょうか。おどましさに震える思いがいたします。

誰も征きたくありません。征かせたくありません。

防人に行くは誰が背と問う人を見ることがもしき物思ひもせず（防人の歌）

た。

しかし、だからこそ九条が尊いのです。この80年一度も戦争をしていない、そして唯一原爆を被弾した憲法九条を持つ日本こそが、異を訴えねばなりません。なぜそれをしていないのでしょうか。石破首相とトランプ大統領がダブルスタンダードなのです。

戦後日本はoccupied Japanでした。そのために米国の農民の訴えが上院下院を動かし日本の給食制度ができました。ですので、幼小中学の給食でお米は一切出ずパンしか出ませんでした。その時にはサンフランシスコ講和条約が成立していたにも関わらずです。

これは今も変わっていません。小泉農水大臣はこともあろうに、備蓄米を大量に放出してしまいました。有事の際に国民に配るお米をです。なぜ？ 南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくない今、備蓄米がないので米国から米を輸入しないといけないと、国民の意思をまとめるためです。それを土産に車等への25%の関税を引き下げてもらうためです。お米を生贄に米国の農民と政治献金をくれた大企業を護るのです。そうです、もっと悪くなっているのです。

自民政権はこの80年一体何をしてきたのでしょうか？



沖繩国際大学 前泊 博盛教授

1960年宮古島生まれ。琉球新報で論説委員長などを務め、現在沖繩国際大学大学院教授(沖繩経済論、軍事経済論、日米安保論、地位協定論)。『本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」』(創元社)、『沖繩が問う日本の安全保障』(岩波書店)など著書多数

## 第105回評議員会・特別講演 講演要旨

# 戦後80年「台湾有事」を起こさせないために

協会が5月15日に開催した第105回評議員会・特別講演「台湾有事」を起こさせないために」(講師・沖繩国際大学 前泊博盛教授)の講演要旨を掲載する。

「台湾有事」は「沖繩有事」そして「日本有事」

「台湾有事」と言われたしたのは安倍政権からだ。「台湾有事」は「沖繩有事」で、「沖繩有事」は「日本有事」となる可能性が高い。

中国は台湾への武力介入の3条件として、①台湾の内乱、②台湾独立の動き、そして③外国の介入・内政干渉としている。

日本もアメリカも日中共同宣言や上海コミュニケ、米中共同宣言などを通じて、「中国は一つ」を認めている。

台湾と中国の軍事専門家たちを沖繩に呼んで、「台湾有事」は本当にあるのか議論したところ、「中国は一つ」について中国側は「その通り」と言い、台湾側は「そうだ、台湾を中心として一つ」と言い、少し齟齬はある。ただ、台湾では過去に中国の武力行使があったが、いま実際に起こる可能性があるかについては、どちらも「こんでもない」と言っていた。昨年1月の台湾総統選挙では独立色の強い民進党が勝つ一方、国会にあたる立法院議会で、対中融和派の国民党が勝利した。台湾内は絶妙のバランスで成り立っている。

日本がむしろ「台湾有事」とはしかけ、米国もベロシ下

院議長が台湾を訪問し中台関係を刺激するという状況だ。

## 自衛隊の南西シフト 高まる紛争危機

日本では16年頃から南西諸島にはじまり、鹿児島、宮崎、長崎、大分、熊本、佐賀と自衛隊配備が進んでいく(図1)。米軍統治下にあった72年まで、沖繩に自衛隊基地はゼロだったが、現在、57まで増えている。

今問題になっているのは在沖海兵隊現役幹部が「中国、(攻撃)対象は沖繩」「家族が多く住む嘉手納基地の家族的な不快感に近い」「第一列島線に家族を連れていくべきではない」と言っていることだ。23年12月にこの論文が発表されていたことを、昨年11月に琉球新報が報道した。

同じようなことは与那国島でも起きている。16年に自衛隊配備を決めた際には監視部隊150人という話で、当時の町長は「監視部隊なら大歓迎」「家族も一緒に、子どもも増え学校も複式学級を解消できる」と歓迎し、実際17年から複式学級は解消された。しかし一昨年から複式学級に戻っている。自衛隊員たちは危ないからと、与那国に家族を同伴しなくなったからだ。

与那国では監視部隊だけのほ

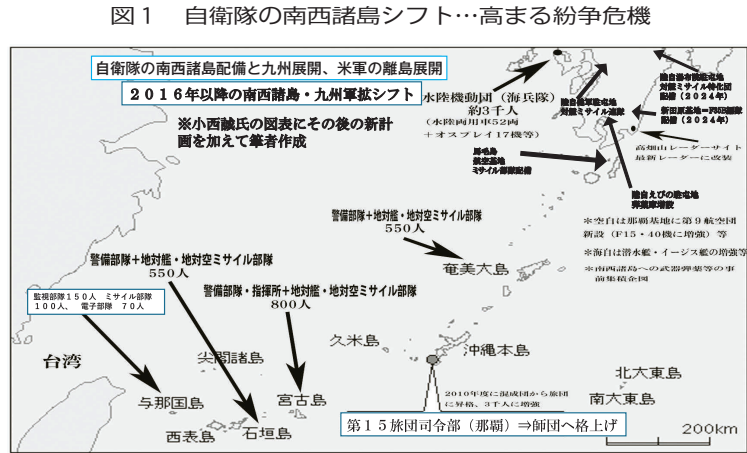


図1 自衛隊の南西諸島シフト…高まる紛争危機

うなると選挙しても自衛隊が政治的決定権を握ることになり、住民自治権が失われる。原発地域と同じでノーが言えない状況だ。

自衛隊は現在「いずも」「かが」「ひゅうが」「いせ」という4隻のヘリ空母を保有しており、明らかに専守防衛を逸脱している。

いずもやかがは「ヘリコプター搭載護衛艦」とされ、カタパルト(離陸支援装置)がなく滑走路が短すぎて戦闘機が甲板から飛べないので空母ではないとされてきた。しかし、第一次トランプ政権時、トランプ大統領が「米国が攻撃されても日本はたたかう必要がない」と日米安保条約は不公平だと脅してきた。安倍首相は大騒ぎでアメリカへ行き、米ステルス戦闘機F35を100機、国会審議なしで購入すると決めた。

このF35B型は垂直離着陸機だ。カタパルトなしで空母から離陸できる。B型導入でいずもやかがは名実ともに空

母となる。この動きに中国も反応して、空母建造など軍拡競争が始まっている。

先日、民間ヘリが尖閣に向かい、一触即発になったが、民間の動きで紛争が始まりかねない危機的状況もあった。

石破政権はアジア版NATOなどというが、すでに

ドイツ・イギリス・フランスの軍艦が一緒に4万人規模で、戦闘機も1500機が訓練に参加している。また、「同志国」という言葉が出て

いるが、さらにインドとは踏み込んだ形で協定を結んでいる。先日のインドとパキスタンの紛争のようなことが起こった時に、インドが日本側に応援を要請し、日本が応ずれば紛争に巻き込まれる可能性すら出かねない。まさに多国間軍事安保が持つ危険性だ。

## 異次元の軍拡と 憲法9条

43兆円という異次元の軍拡をどう止めるか。憲法が無視されている。

憲法9条には「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」「2 前項の目的を達す

るため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と書いている。自衛隊はどう考えても違憲だ。安倍元首相が自衛隊を「わが軍」と言って、なぜ国民が平気な顔をしているのか。

各党は改憲・論議・創憲などと言い、各紙の調査で35、65%と差はあるものの国民の多数が改憲に賛成だ。憲法9条という歯止めがなくなったとき、日本はもう一度、戦争をしかねないのではないか。

9条がまさに「窮状」に陥っているなかで、私は憲法第22条が大事と考えている。22条は居住・移転、職業選択の自由とともに外国に移転し、「国籍を離脱する自由」を規定している。多くの国は国民を簡単に国から出さない。ウクライナでは60歳以下の男性は国から出られないし、ロシアも兵隊が徴兵を拒否すると刑務所行きだ。22条がなくなると逃げ場がなくなる。

## 日本国憲法を超える 日米地位協定

条約も憲法に基づいて結ばれないといけないのに、憲法

を超える日米地位協定が結ばれていることも問題だ。

地位協定は本来、有事と平時を分けて運用されなければいけなかった。デフコン(防衛準備態勢)といい、韓国はきちんと作っている(図2)。5段階にわけて、有事には軍隊中心で戦闘行動を認めるが、平時においては他国軍隊、アメリカ軍も国内法に従う。デフコン3を韓国大統領が発令すると、韓国軍の指揮命令はアメリカ軍に移るの

で、韓国大統領は簡単にデフコンを発令しない。日本の地位協定は朝鮮戦争時、戦時中に作られたため、デフコンがなく、平時でもデフコン1「戦時」と同じ運用がされ、地位協定が憲法を超えてしまっている。

「当事者の非戦論」と「傍観者の好戦論」

本来、「台湾有事」を避けるためには、冒頭にふれた中国の台湾武力介入の3条件をどうおさえるかを考えていかないといけないが、政府が行っているのは中国を刺激する自衛隊の南西シフトだ。

中国軍の幹部が、「台湾有事」で、日本は大きな影響を受ける言っていた。沖繩が戦場になる可能性が大きい。自衛隊のさらなる南西諸島配備は、軍が持つ有事に攻撃を引き付ける「マグネット効果」を高めている。有事

には米軍基地や自衛隊基地は真っ先に攻撃対象になることは米海兵隊幹部がすでに警告している。

そもそも、自衛隊は何かを守っているのか。防衛相経験者は「国家と国体を守る」と断言している。残念だが、そこに国民は入っていない。「軍は民を守らない」というのが沖繩戦の教訓だ。

現在でも、元陸上幕僚長が『台湾有事のリアル』という本で、国民保護法のもと、有事の際の住民保護は知事と市町村長の役割で、住民に助けを求められても自衛隊は拒否できると言っている。これでもいいのか。

有事には宮古島から6万1千人、八重山・石垣・西表島とあわせて12万人を九州に避難・疎開させ、逃げられない民は5000人分しかないシエルターにという非現実的な計画を立て、訓練が実際に行われている。

「当事者の非戦論」の沖繩と、「傍観者の好戦論」の本土という構図だ。本土は関係ないところの戦争と思ひ、自分たちが巻き込まれるという危機感、感覚がない。しかし、政府は自衛隊が平時から利用できる特定港湾・特定空港の指定を全国各地に広げ、有事に対応できるように整備を進めている。

ジョンホプキンス大学が、北朝鮮の核ミサイル攻撃により日本にどれくらい被害が出るかという試算を出している。東京も317万人死傷者が出るとい

中国が核戦力を拡大し、核弾頭の数が増え500発になったとストックホルム平和研究所が発表した。今年はいくらに100発増え600発にな

ったという。注目すべきは、このうち24発の核弾頭が「実戦配備」されていることだ。攻撃対象がどこか調査中だが、例えば原発が集中している福井を狙うと関西、近畿地方は壊滅的で、首都圏が狙われれば、日本が崩壊しかねない。

58年、第二次台湾危機時、中国に対しアメリカが「台湾・金門島の砲撃中止」を求め、中止しなければ主要都市を核攻撃すると威嚇した事件があった。その際、中国に味方するソ連はアメリカの核攻撃に対し核報復を示唆し、危険性が高まった。米核戦略専門家のエルズバーク氏が朝日新聞の取材に当時を証言している内容によると「アイゼンハワー大統領らは、核の先制使用の結果、台湾や沖繩が消え去っても受け入れるつもりでいた」という。エルズバーク氏はこの記事の翌年に亡くなった。

今、沖繩では海兵隊の核配備疑惑がある。辺野古の新基地建設が進んでいる横の辺野古弾薬庫が核弾薬庫に作り替えられていないかという疑いだ。

米歴史・経済学者のG・H・カーは著書『琉球の歴史』の中で日本にとって沖繩は「Lendable(消耗品)」と表現している、いざというときに日本を守るための「トカゲの尻尾」と同じ役割だ。日本にとって沖繩は消耗品だが、アメリカにとって日本も消耗品になっていないか。

「台湾有事」の際の影響についてもデータが次々に出てきている。また石破首相が核武装に積極的でもあり、これらの動きに今後も警戒して、注目し、行動をしてほしい。

会員投稿

テーマ②

自由題

あお

緑い鳥、アオバトを訪ねて

西宮市

法西

浩

豊中市服部緑地公園は、緑  
終え、冬期に集団（群）で塩  
分を多く含む湧水地を訪れる  
場所として、バーダー  
（探鳥家）によく  
知られている。

2025年の冬、  
私は何度もここを訪  
れた。やっとうまく  
撮れた数枚のし版を  
モデルとして、水彩  
原画一枚を完成した  
（上写真）。

アオバトは平和の  
シンボル、キャラク  
ター、マスコットで  
ある。

アオバト（ハト目ハト科アオバト属）



アオバト（ハト目ハト科アオバト属）

話は変わる。社会問題を考  
えよう。  
○今、対立と分断の社会であ  
る。

○「法の支配」よりも「力の  
支配」。

○「赤狩り」マッカーシズム  
ならぬ、「政府パージ」ト  
ランヒズムの猛威。

○核廃絶「人類生存に必  
要」、核兵器禁止条約締約  
国会議員採択し、閉幕。

○「オレタチャ ソンナモノ  
オソレハ セヌゾ」憲法  
第9条を守ろう。

○「国民ハ健康ニシテ文化的  
水準ノ、生活ヲ営ム権利ヲ  
有ス」憲法草案要綱の条文  
は憲法第25条の最低限度の  
生存権を守ろうとする。

○モットウ、無力でない、微  
力である。共に食し、共に  
生きる。憲法第25条を守ろ  
う。

災害時における  
歯科の役割

準会員

M

映画「フロントライン」を  
観ました。日本で最初の集団  
感染が発生した豪華客船内  
で、医療従事者とクルーたち  
が猛威をふるう未知のウイル  
ス、恐怖、混乱と情報の嵐に  
立ち向かい奮闘する姿を、真  
実に基ついたオリジナル作品  
として描いており、災害時の  
医療現場の現実を知ることが  
できました。

は、医療従事者でなくても自  
身の安全が確保できれば人命  
救助を優先すると思います。  
災害時における歯科の役割  
は重要です。個人識別への対  
応、歯科医療提供体制回復ま  
での間の応急歯科診療活動、  
災害時要配慮者の方々に対す  
る口腔衛生管理や口腔機能管  
理を行うことが必要です。  
避難所生活では、あらゆる  
面で不自由を強いられます。  
水や口腔ケア用品の不足、洗  
面所がないなど、通常の口腔  
ケアが困難となります。特  
に、高齢者は口腔ケアが行え  
ないことで誤嚥性肺炎になる  
可能性が高くなり、災害関連  
疾病につながるリスクとなり  
ます。口腔衛生対策など、必  
要とするところに必要な支援  
を提供することが重要です。  
今後、誰も経験したことの  
ない危機が突然私たちを襲う  
かもしれません。そのような  
時には信じ合い、支え合える  
社会でありたいと思います。

JR加古川線の廃線

丹波市

眞田

幸昭

先日、廃線が検討されてい  
る「加古川線」（谷川〜加古  
川間、図）に乗って、「焼け  
石に水」支援日帰り旅行をし  
てきた。

江戸時代から明治に入っ  
て、日本近代化のために全国



図 廃線が検討されているJR加古川  
線の起点・谷川駅

津々浦々に張り巡らされた国  
鉄が、いずれの御時からか  
「利益優先」に変貌して「民  
営化」されたが、加古川線  
（谷川〜加古川間）の廃止

は、その集大成とも言える。  
これまでに全線電化のため多  
大の資金も投入している。も  
ともと、国鉄は戦後満蒙から  
の帰国者の受け皿としての国  
策の一面もあった。

乗ってみて気づいたこ  
とだが、沿線のどこにも  
「加古川線廃止反対」の  
ポスターや表示は見当た  
らず、目についたのは  
「福知山線複線化実現」  
という横断幕であった。

JR西日本が発行してい  
るIC型乗車券（ICO  
CA）も、廃止検討区間  
（おそろく、谷川〜西脇  
間）だけ使用不可仕様  
で、以前から民間バス代  
替え輸送が決まっている  
出来レースとの印象を強

機能不全の民主主義

丹波市・歯科

水野

良司

今に始まったことではない  
のですが、政治的意思決定を  
政治家や専門家などの特定の  
人々に任せきりにして、自分  
たちは関与しようとしないと  
見受けられる方が増えてきて  
いると思います。これは、民  
主主義の本来のあり方であ

く持った。  
高度経済成長政策は、東京  
や大阪などの大都市を繁栄さ  
せ、わが国を戦後から復興さ  
せた面もあるが、一方で貧富  
の格差拡大と共に地方は置き  
去りにされた。過疎や少子化  
も同時進行し、自動車や電化  
製品輸出の引き換えとして、  
外国からの食料輸入の増加と  
日本の農畜産業が衰退した。  
国鉄、その他の公社民営化は  
その施策の根幹をなしたもの  
と考えている。

「おまかせ民主主義」は、  
別名「消費者民主主義」とも  
言うそうです。消費者はサー  
ビスを消費するだけで、不具  
合があれば文句を言うだけ。  
税金と票という対価を払う以  
外なにもしない。気に入らな  
ければ票さえも投じない。な  
ので、最近の国政選挙では投  
票率は50％台、地方選挙なら  
40％台なのでしょうか。  
また、選挙の日程も、国民

がレジャーなどに没入するよ  
うなタイミングにわざわざ設  
定しているのだとか。与党が  
自党に有利になるように低い  
投票率をさらに下げる手法を  
用いるのは、民主主義国家と  
いえるのでしょうか。  
一方、国と国民を媒介して  
いるメディアにも多くの問題  
があると思います。国や政治  
家にとって都合の悪い情報を  
あまり報道しない、有名人の  
スキャンダルなどを派手に報  
道して国民の目をそらすよう  
していると思われる行動を取  
ることなどです。

最近ニュースになっている  
備蓄米を買ってみたいと思  
い、ネットやスーパーマーケ  
ットを見ているが、買える感  
じがしない。どこにあるの  
か？ テレビを見ていると、  
販売はしているが、10分で完  
売など、買える気がしない。  
農林水産大臣が、米はあ  
る、流通が悪いだけだと言  
うが、どうも嘘くさい。やは  
り、米の絶対量が足りてな

備蓄米

伊丹市・歯科

工藤大八郎

く、そのせいで、流通が悪く  
なったのほうが正しいと思  
う。減反政策など、農林水産  
省の政策的なミスだと思う。  
これでなし崩しに米の輸入  
などに舵を切るのでは、と危  
惧している。日本の農家を国  
策で、守るべきと思う。

農家だけでなく、国策で守  
るべきものは他にもある、伝  
統工芸やその他、いろいろな  
職業だ。

そこで、ベシックインカ  
ムというのは、どうだろう  
か？

これなら、生活保護を受け  
るべき人が受けられない問題  
も、すべて解決する、その  
上、いろんな職業の方々の、  
尊厳や収入が守られる、と僕  
は思っている。

一度、国民みんなで考える  
のはどうだろうか？

土田ヒロミ写真展  
ヒロシマ・コレクション

須磨区・歯科

加藤

擁一

今回は、大阪中之島香雪  
美術館で開催中の、土田ヒ  
ロミ 写真展「ヒロシマ・  
コレクション」―1945  
年、夏。を紹介しましょ  
う。

平和記念資料館に収蔵され  
ている、被爆した遺品を撮  
影した一連の作品です。  
衣服や時計・弁当箱とい  
った日用品ばかり、人々が



土田ヒロミ 〈ヒロシマ・コレクション〉  
《弁当箱 寄贈者：渡辺茂 広島平和記念  
資料館所蔵》1982年 ©Hiromi Tsuchida

なっただ「弁当  
箱」（写真に  
は「渡辺玲子  
さん（当時高  
女1年）は動  
員学徒として  
中島町（爆心  
地から550  
m）で建物疎

今年是被爆80年の節目の  
年、展覧会は静謐な、祈り  
の空間のようです。ぜひ足  
を運んで、核兵器・戦争の  
ない世界を想像してみませ  
んか。

大阪メトロ肥後橋駅から  
5分、9月7日まで開催で  
す。

身につけていたものを、残  
されたしみや焦げあとまで  
細密に記録しています。土  
田氏は、感情を排し、資料  
そのものを記録するリアリ  
ズムに徹していますが、一  
方、それぞれの作品には、  
具体的なエピソードも添え  
られており、そうすること  
によって、広島で起きた惨  
事が、現在の日常につなが  
っていること  
を示唆しよ  
うとします。

開作業中に被爆。翌7日、  
姉の桂子さんが作業現場で  
発見、持ち帰った…遺体は  
行方不明」とあります。土  
田氏は、80年前と今をつな  
ぐのは「想像力」だと言  
います。炭化した豆と白米、  
物資の乏しかった時代、お  
母さんはどんな気持ちでお  
弁当を作ったのでしょうか？  
姉の桂子さんが「弁当  
箱」を見つけた時はどんな  
気持ちだったでしょう？  
目を閉じて想像してみま  
した。

テーマ② 自由題 つづき

認知症サポーター養成講座

洲本市・歯科 納 千富

2025年6月25日、洲本市歯科医師会は会員、家族、スタッフを対象に認知症サポーター養成講座を開催いたしました。

洲本市健康福祉部介護福祉課の認知症地域支援員の杉本様から、洲本市の人口推移、高齢化率、高齢者独居帯の割合等の説明を受け洲本市は危機迫る状態だと改めて認識しました。

認知症の高齢者数は約57%、2人に1人は認知症という状態になっています。

私たち歯科医師が治療の場で認知症の方と遭遇することもあり、そのため認知症について正しく理解し、家族が困っていることをさりげなく気にかけて、見守る、話を聞くなど、認知症の方やその家族をあたたく見守る応援者にならなくては治療もスムーズに進みません。生まれ育った町で認知症の方が安

DXと昭和レトロ

尼崎市 鈴木 克司

以前からデジタルトランスフォーメーション（DX）としてデジタル技術を活用した業務プロセスの導入を掲げようという動きがあったが、政府方針ともなり医療界にも広がろうとして医療DXが叫ばれている。その結果マイナ保険証を代表とする拙速な導入が、医療現場にさまざまな混乱と困難をもたらしている。

診療所では電子カルテを使用している割合がついに50%を超えたことを強調する業者が盛んに売り込んでくるが、69歳の筆者の診療所も考え時である。

万博入場ID登録方法についての変更  
— 検証はしないのか —

西宮市 伊賀 幹二

本年2月頃では、万博IDの登録に關し、名前・性別・電話・メール以外の、企業・団体名、部署名、役職、SNSアカウント情報、パスポート番号、国籍などなど極めて個人的な情報まで提供を強いられていた。

私は万博には行きたいとは思っていたが、これらの個人情報の提供に抵抗感があり登録しないでした。しかし5月5日、妻が万博IDを取得するためにネットアクセスすると、年齢と性別と誕生日と電話番号の入力だけで登録できたことだった。

れいわ新選組から、国会で

いてやめるにやめられないというのであれば、そこそこ蓄えがありまだ健康を維持しているうちに優雅にセカンドライフを楽しみたいという気持ちもよくわかる。

社会保障費抑制のため診療報酬上の冷遇が今後もひどくなる一方で人件費その他の諸経費が上昇するならば、負債がでる前に撤退するのが得策と、多くの開業医が考え始めたならば地域医療供給体制はどうなるのだろう。言わずもがなである。

筆者は「次の時代を見届けてから去ろう」との想いで診療所スタッフに励まされつつ

は、当初は看護師だけだったが医療団体からの要望により受付医療スタッフにも実質的に適用拡大になった。

この二つのことについても最初決定した部署はどういう目的でこのようなことを考えたのか、そしてそれをいまは間違っていると評価しているのかの検証がないのである。システムを改善していくために必須であるこの検証という文化が、日本、特に行政機関にはないのを感じなく思う。

保険医協会には国に決められたものに対しての改善を交渉することに加えて、この検証についても国に返答を求めるように意見してほしい。

その後、池田市立カルチャープラザで句会が始まる。互選披露の後、最後に主宰の品川純胡（岡本純子）先生の選句と句評を伺う。

今年が例年と一番違っていたのは、食事の彩りとその旨さに皆が驚いたことだった。シェフが新たにホテル阪急インターナショナルから来られたそう。そのせいか今回は、料理をテーマにした俳句も多く出句されていた。

15人もいるのだから、結構慌ただしかったが、この句会は「気楽に、楽しく、楽々と」の三楽主義がモットーである。純胡先生の選んだ句を見ると、技巧を凝らした句もあるにはあるが、それ以外に

若き頃に学んだ  
芸術とともに  
～変わらない夢を！

赤穂郡・歯科 白岩 一心

の時代を思い出します。ベートーヴェンの交響曲、モーツァルトやチャイコフスキーの音楽、ショパンのピアノ音楽、バロック音楽などについても、無我夢中になったころを思い起こします。

最近では、仕事に追われたり、社会的責任を果たすことに時間の多くが費やされ、若い頃の心の安らぎが、忘却の彼方に消え失せているようにも思います。

ふと部屋の書棚を眺めてみると、中高生時代に読んだ小説、聴いたクラシック音楽レコードやCDが、ずらりと並んでいます。

文豪と言われた、夏目漱石や森鴎外、川端康成、芥川龍之介、太宰治などの小説を読んでいた、若い頃の純粋な心



素直にありのままの気持ちを詠んだ句も多い。各目の句風もよく存じで、互選で選ばれなかった人の句を最後の純胡先生の選句で復活させ、また今回「八十年（戦後）」を使った俳句などは、句会に参加された協会事務局の方々と知って選句されたに違いはない。個性を尊重され、選句される主宰の選は見事と思う。

俳句結社『雲雀』の中には、たくさん句会があるが、【たかな句会】は私にとって、俳句よりビールを飲みながら句会に参加することが目的である。酔って句座を乱しかけても「体に気をつけ」とあかんよ」と言われたことはあっても、面と向かって怒られたことはない。こんな私が20年近くも俳句が続けられている理由である。感謝、感謝、感謝で、もはや雲雀は私の宗教となっている。（だけど宗教でビールは飲んだら

歯科医師・求職

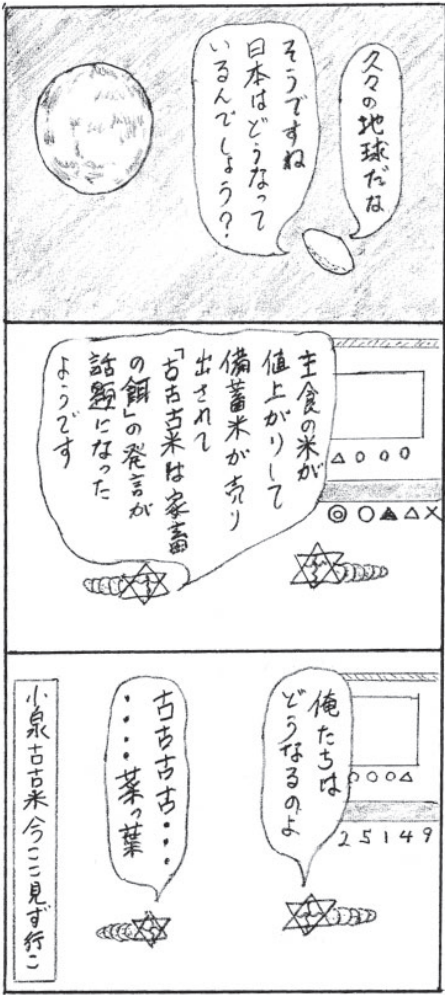


- ◇男性歯科医師 年齢69歳
- ◇平日午後の勤務時間希望
- ◇中央区以外の勤務地希望
- ◇お問い合わせは、078-393-1809 吉永まで

ホイホイ漫画⑦3

長田区 ぼん太with T.T.

長 旅



北阪神支部  
吟行句会の継続願って

宝塚市 澤村 新

2025年7月6日、今では恒例となった保険医協会北阪神支部の文化企画として、吟行句会が行われた。

西山理事長、川村副理事長らが橋本県歯会長を表敬訪問

## 歯科診療報酬引き上げのため 協力・共同をよびかけ

県歯科医師会長の橋本会長(中央)、協会の西山理事長(左2人目)、川村新歯科部会長(右2人目)、鈴田理事(左端)、小松理事(右端)



兵庫県保険医協会は、第57回総会での西山裕康理事長の再任、川村雅之副理事長の歯科部会長新任など新体制発足のあいさつのため、7月16日に兵庫県歯科医師会・橋本芳紀会長を表敬訪問した。訪問したのは、西山理事長、川村副理事長、鈴田明彦・小松盛樹両理事。

協会から、現場要求からかけ離れた昨年の診療報酬改定と物価高騰等により疲弊している歯科医療機関の窮状を救うため歯科診療報酬引き上げ、過当な価格競争により低賃金・長時間労働におかれている歯科技工問題解決などのため、協力・共同をよびかけた。

### 審査対策部だより

#### 〈医科歯科共通〉施設基準の届出受理通知の廃止

施設基準の届出を行った際、医療機関に郵送されていた届出受理通知が廃止された。8月算定開始分以降の届出については、近畿厚生局ホームページの「施設基準の届出受理状況」(下記二次元コード)から、自院の状況を確認することになる。

「施設基準の届出受理状況」は毎月2回、15日～20日頃と最終開庁日に更新される。

届出の受付からホームページへの掲載までの期間は、概ね2週間から1ヵ月とされている。そのため、算定開始日時時点でホームページに自院の届出受理状況が掲載されていないこともある。この場合であっても、届出が受付されており、施設基準を満たしていれば、月初から届け出た点数を算定することができる。ただし、月末頃に届出書を送付した場合など、月内に届け出が受理されているか明確でない場合には、近畿厚生局兵庫事務所(☎078-325-8925)に確認した上で算定を開始いただきたい。



近畿厚生局「施設基準の届出受理状況」

| イメージ      |           |           |     | 受理内容                                                                  |
|-----------|-----------|-----------|-----|-----------------------------------------------------------------------|
| 医療機関番号    | 医療機関名称    | 医療機関所在地   | 病床数 |                                                                       |
| 01,2345,7 | ●●クリニック   | 千代田区霞が関●● |     | 医療DX推進施設整備計画<br>(医療DX)第999999号<br>算定期間年月日:令和7年8月1日                    |
| 01,8765,4 | 医療法人 ●●病院 | 千代田区霞が関●● | 180 | 施設対策向上計画1<br>(感染対策1)第999号<br>算定期間年月日:令和7年8月1日<br>届出を行う計算:医療費適正化使用抑制計算 |

施設基準名称・算定開始日をご確認ください。

(厚生労働省案内より抜粋)

#### ベースアップ評価料

##### 8月31日までに賃金改善実績報告書の提出を忘れずに

2025年3月以前にベースアップ評価料を届け出て算定している医療機関では、8月31日までに2024年度分の「賃金改善実績報告書」の提出が必要です。

※2025年4月以降にベースアップ評価料の算定を開始した医療機関は、今年の報告書提出は不要です。

お問い合わせは、医科☎078-393-1803、歯科☎078-393-1809まで  
(平日10時～12時/14時～16時)

## 燭心

ひところ迷惑系ユーチューバーが話題になった。再生数を稼ぎたい迷惑系ユーチューバーは、コンビニで騒ぎ、駅で撮影を繰り返して、常識を嘲笑する。そして、炎上すればするほど勝利、目立てば勝ち。そんな風潮が政治の一部を同じ土俵に引きずり込んでいる▼その手の候補者は過激な発言、陰謀論、挑発的なパフォーマンスで視聴者ならぬ有権者を煽り、注目と支持を得ている。こうした手法が政治の世界に浸透しつつあるのは恐ろしい。例えばある政党の代表が発する情報は、確かに既存メディアが触れない領域に踏み込んでいる。しかし、その言葉に裏付けがなければ、政治は知性ではなく煽動に支配される。数々の失言も計算されたうえでの発信なのだろう。

う。マスコミに取り上げられ、叩かれれば叩かれるほど再生回数が伸びる動画のように、認知度が高まるのだから▼彼らの言葉や論理に危機感を持った真面目なメディアが番組で警告することそのものが、すでに術中にはまっているのだ。有権者にその政党を強く印象付けることに一役買ってしまったという空疎な価値観が社会全体に蔓延し、冷静な議論や理性的な選択は駆逐される。このままでは、公共の言論空間は迷惑系の論理に飲み込まれ、扇動と騒動だけが力を持つ世界になる▼「声が大きい者」に惑わされているのは、信頼に足る言葉と責任ある沈黙の価値だ。さもなくば、社会はよりいっそうの分断と混乱へと向かう道をたどることになる。(九)

### テーマ② 自由題

つつき

## 『2030―2040年の

## 医療の地獄絵』の対談を見て

垂水区・歯科 伊藤 優子

医療法人社団京浜会京浜病院三代目院長・熊谷頼佳先生の対談での話です。

現在の保険医療の保険点数は、最大6年、早ければ1年の浅い臨床経験しかない厚労省技官の医師が、すべて決定している。実際に患者を診療しているすべての開業医のデータに基づいて、どの治療が有効で、どれが無駄かを見極めて保険点数を決定していくべきである。

病院も経営であり、ビジネス

## 癌治療に思うこと

小野市・歯科 幸田 雄策

手術は別として、癌治療に、放射線療法や抗がん剤治療があるが、本当にこれでいいのか疑問があります。というのぼちちの療法もリンパ球を減らすからです。

リンパ球は抗がん効果をも

スである。そうでなければ拡大再生産できない。拡大再生産による成長がなければ効率化できない。効率化できないは新しい機器を導入できないし、快適な病院を作れず、優れた医療に携わる人材も集まらない。

未来投資として企業や政府

が株主とともに、働くすべての人、社会に対して三方よしの資本主義に変えていくべきである。

以上が対談内容です。患者の期待に寄り添った適切な保険診療を、経営の心配せずにできる医療制度に変わっていただくことを切望します。

人間の体は1日に3000個から5000個のがん細胞が発生しているという情報があり、これをリンパ球が食べて、消しているのですが、その食べ残しが増えて大きくなたものが癌と言われている。

歯医者には、このリンパ球を増やす方法があります。

左側咬合低位がリンパ球数を低下させ、その数1300個/μL以下が癌を発生させることになりましたが、これを増やす方法を歯医者は持っています。左側咬合低位をやめさせて、右側咬合低位に持っていくことです。もちろん両側を適正な高さにすることが重

## ロシア第三帝国の興亡(巻1)

垂水区 佐々木 徹

地中海世界を支配した西ローマ帝国がゲルマン民族大移動によって滅んだのは476年であった。それから400年後、9世紀のヨーロッパでスカンジナビアを本拠とするヴァイキング(ノルマン

(ノルマン・コンクエスト)。東ヨーロッパではノルマン人のリュウリクはラドガ湖の南、ノブゴロドを征服した。さらに彼らはユーラシア大陸を縦断するドニエプル水系を知り南下して、860年には東ローマ帝国の首都コンスタンティノープルに遠征した。

その途中、一族のアスクリドとジルの兄弟はドニエプル河の中ほどの町キーウを支配していたハザール国に代わって町を占領した。

キーウ公国はオレグ、イゴリ、スヴァヤストラフの初期三代の治世で南ロシアに勢力を拡大していった。957年には摂政オリガは東ローマ皇帝バシレイオス2世を代父としてキリスト教の洗礼を受けた。

しかし12世紀初めにはキーウ公国は諸公の領域支配圏が形成され国家は分裂の傾向を強めた。

特に急速な成長を示したのがキーウ大公ウラジミール・モノマフの末子ユーリ・ドルゴスキーに分領として与えられたウラジミール・ズーズダリ公国であった。

やがてキリスト教会の府主教座もここに移され、キーウ公国の直接の後継者となったのである。

1236年東方の騎馬民族がロシア南東部に現れ、彼らの略奪と殺戮のためにロシアの大地は荒廃しその後240年におよぶ「蛮族支配」(タタールの軛)の契機になった。

(つづく)

